

資料提供

令和3年2月26日

担当：新型コロナウイルス感染症 広島県対策本部  
事案対策部 ワクチン接種体制整備班

担当者：渡邊

内線：3228

直通電話：082-211-1250

～新型コロナワクチン接種に関する相談に対応～  
**「広島県新型コロナウイルス  
ワクチン接種コールセンター」を  
令和3年3月1日（月）8時30分から開設します**

広島県では、新型コロナウイルスのワクチン接種に関する県民の不安を解消するため、様々な相談に対応する「広島県新型コロナウイルスワクチン接種コールセンター」を開設します。なお、コールセンターは県外にあり、撮影が困難なため、取材を希望される場合は、ワクチン接種体制整備班（県庁南館3階）で対応します。

ぜひ、貴メディアにて、ご取材いただきますよう、よろしくお願いいたします。

**コールセンター（令和3年3月1日（月）8時30分から開設）**

**☎082-513-2847（24時間・土日祝日対応）**

ワクチンの知識に関する専門的な相談と一般的な問い合わせ等、様々な相談に対応します。

**【よくある質問と回答】**

質問	回答
接種を受けられる会場、開始時期は？	原則として、住民票のある市町（居住地）の医療機関や市町が設ける接種会場で接種が受けられます。 2月中旬から、医療従事者への接種が開始されていますが、現時点では、4月中旬から高齢者を予定しています。その後、基礎疾患のある方、高齢者施設に従事する方を優先して接種することを予定しています。一般の方はその後となる予定です。
接種費用、接種回数、予約方法は？	全額公費で接種を行うため、無料で接種ができます。2回の接種が必要です。 電話やインターネットで予約していただきますが、手続きの詳細は市町の広報をご確認ください。
ワクチン接種による効果の持続期間は？	臨床試験や接種が始まってから時間があまり経過していないことから、効果の持続時間については明らかになっていません。今後の情報が明らかになるのを待つ必要があります。
ワクチン接種による副反応は？	日本への供給を計画している海外のワクチンでは、ワクチン接種後に、ワクチン接種と因果関係がないものも含めて、接種部位の痛みや、頭痛・倦怠感・筋肉痛等の有害な事象がみられたことが論文等に発表されています。 また海外で既に実施されている予防接種においては、まれな頻度でアナフィラキシー（急性アレルギー反応）が発生したことが報告されています。もし、アナフィラキシーが起きたときには、接種会場や医療機関ですぐに治療を行うことになります。

※ワクチン接種のスケジュールなどの最新情報は、国からの情報提供があり次第、  
県ホームページに掲載します。

県 HP : <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/59/corona-vaccine.html> **広島県 ワクチン**で検索

## 【ワクチン接種の概要】※厚生労働省のHPから引用

目的	新型コロナウイルス感染症による死亡者や重症者の発生をできる限り減らし、結果として新型コロナウイルス感染症の蔓延を図ることを目的としています。
回数と 間隔	2回接種が必要です。ファイザー社製のワクチンでは、通常1回目の接種から3週間後に2回目の接種を受けます。
場所	原則として、住民票のある市町（居住地）の医療機関や市町が設ける接種会場で接種が受けられます。
対象者	16歳以上の方で、概ね次の順で接種が行われる予定です。 ① 医療従事者等 ② 高齢者（65歳以上） ③ 高齢者以外で基礎疾患を有する方や高齢者施設等に從事されている方 ④ それ以外の方